

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算      支出科目 款：総務費    項：防災費    目：消防指導費

### 事業名    消防学校施設安全対策事業費(新型コロナ対策)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 消防学校 管理調整係    電話番号：0586-89-3226

E-mail：[c21201@pref.gifu.lg.jp](mailto:c21201@pref.gifu.lg.jp)

1    事業費                      65,233 千円 (前年度予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	65,233	0	0	0	0	0	0	0	65,233
決定額	178	0	0	0	0	0	0	0	178

## 2    要求内容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染症対策を実施するために必要となる施設の改修を行う。

### (2) 事業内容

まとい寮班室改修工事実施設計費： 4,070 千円  
 まとい寮班室改修工事費                      : 60,985 千円  
 手洗い場シンク借上料：                                      178 千円

### (3) 県負担・補助率の考え方

消防組織法に基づき、県負担で整備

### (4) 類似事業の有無

無

## 3    事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	60,985	
委託料	4,070	
その他	178	使用料 178
合計	65,233	

#### **決定額の考え方**

まとい寮班室改修工事（個室化）の費用については、工事期間が長く即効性がないことと、既に令和2年度補正予算で感染症対策を実施済であることから、計上を見送ります。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

今年度、急きよさまざまな新型コロナウイルス対策を実施してきたが、職員の手作業だけでは実施できない対策があるため、来年度早々に着手する必要がある。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値	目 標	達成率
				(前々年度末時点)		
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%

○指標を設定することができない場合の理由

教育訓練を実施するにあたり、新型コロナウイルス対策を実施する必要がある。地域の安全安心を担う消防職団員の育成を止めることはできず、達成率で示すことができない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
-------------------------------

**2 事業の評価と課題**

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い	
(評価)      ○	消防学校の教育訓練は地域の安全安心を担う人材の育成であり、教育訓練が滞ることはあってはならない。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設・設備の老朽化、教育訓練の高度化に対応できる教育訓練場の確保と維持
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

今後、新型コロナウイルス対策が変化していくようであれば、それに合わせた対策を講じていく必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	